

「とうごうトレンド」

「今、この人に会いたい!」

今、東郷町でキラリと輝いている人にフィーチャー!

“何世代にも渡って愛されますように。
高校生が描いた富士浅間神社の天井画”

東郷高等学校美術コース



日本古来の画材を用い 東郷の自然や四神を描く

東郷高校美術コースの生徒が、富士浅間神社の天井画を制作。12月21日に第一期の画が奉納され、参拝される皆さんにお披露目となります。これは「より地域の人に親しまれてほしい」という思いや、富士浅間神社と東郷高校のつながり、そして美術コースを担当する先生たちの指導で実現しました。

「高校生が神社の天井画を描けるなんてすごいこと。何百年と残る画なので、一人ひとりが責任感を持って取り組んでほしい」と先生は語ります。

生徒たちは富士浅間神社へスケッチに行き、描きたいモチーフを選定しました。

地元企業や地域の人からの支援を受け、伝統的な日本画の画材を使用。生徒たちが自ら岩絵の具や水干絵の具と膠を混ぜて、裏打ちした雲肌麻紙に描くことで、本格的に日本画を学ぶ機会となりました。絵の具は混色が難しいため、塗り重ねる技法で美しい風合いを生み出しながら、経年劣化が進みにくいよう考えられています。指導には、愛知県立芸術大学、名古屋造形大学、名古屋芸術大学の日本画の先生の協力も得られました。

野の草花や蝶といった東郷町の自然と神紋や四神を、生徒たちが丁寧に描きあげていく表現。

「神聖で誇らしい気持ちです」「できる限り丁寧に細かく描き込みました」と振り返ります。

3年生25人は先に描き上げ、受験勉強に専念。11月に2年生16人が自分の画を仕上げました。参拝の時間がますます楽しみになりそうです。

PROFILE ▶▶▶ 東郷高等学校 美術コース

県内で唯一、普通科の中に美術コースがあり、2年生から選択が可能。全国の国公立・私立の芸大・美大・教育大への進学を目指し、将来、教員などの指導者や、芸術文化の発展に寄与できる人材の育成を目標とする。美術コースは、1年生では一般教科に重点を置き、基礎学力を身に付ける。2年生でも一般教科を学習しながら、週5時間、絵画やデザインの基礎を学ぶ。3年生では絵画とデザインに専攻を分け、週10時間、個々に必要な美術の力を身に付ける。1年生の間は美術部に入って技術を磨き、2年生からの美術コースに備える生徒も多い。